

## 災害公営住宅を240戸整備 -東日本大震災被災者の恒久的な住まいとして提供-

○ 東日本大震災により昨年末時点において、なお426世帯の県民が応急仮設住宅で生活しております。

このため、県並びに北茨城市、高萩市及び鹿嶋市では、被災者へ恒久的な住まいを提供するため、**計240戸の災害公営住宅を整備**しており、平成26年3月の北茨城市での入居開始を初めとして、順次入居を進めてまいります。

○ また、被災者の方々の災害公営住宅への入居が円滑に進むよう、公営住宅の入居要件の特例が可能となる復興特区の認定を平成25年9月に受けたところです。



藤が原アパート4号棟(外構工事は平成26年3月15日完成予定)

